

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	5-1-2		事業名	楽しさとゆとりのある給食推進事業
担当	教)総務部管理課(給食担当) 高橋 211-3833			
全体計画(当初)				
事業内容	学校給食の一層の充実をめざし、平成11年度から「楽しさとゆとりのある給食推進事業」を開始し、磁器食器の導入やランチルーム用備品の整備等の食事環境改善や献立内容の充実等を図っており、食事環境改善は平成17年度末で整備を完了する。 今後は、子どもたちが生涯にわたって健康な生活を送ることができるように、給食を通して食指導の充実を図り、栄養や食習慣、食文化に関する教育を進める。学校給食は食事全体の6分の1程度であり、家庭での食事が重要であることから、様々な機会を捉えて家庭との連携を強化する。さらに、子どもたちが元気にたくましく育つよう、学校、家庭、地域が連携し食教育の充実に向けて地域と協働で取り組む。		<年度別の事業内容>	
			[平成16年度] ・磁器食器等の整備 ・ランチルーム用備品整備 ・食器保管室整備 [平成17年度] ・磁器食器等の整備 ・ランチルーム用備品整備 ・食器保管室整備	
事業内容(量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)	
	平成9年の札幌市学校給食運営委員会からの提言を指針として、児童生徒をとりまく社会や生活環境の変化等を踏まえ、学校給食のより一層の充実のため平成11年度を初年度として「楽しさとゆとりのある給食推進事業」を実施しており、食事環境未改善の小・中学校について、食器の改善及びランチルームの整備を順次行っている。 主な内容は、給食用食器をステンレス製から強化磁器に改善する。また、それに伴い食器保管室及び食器消毒保管庫等の整備を行う。さらにランチルーム用の備品・消耗品の整備等を行った。  平成16年度末現在 ・磁器食器導入等の食事環境改善率 91.5% ・ランチルーム確保及びランチルーム用備品整備率 89.2% ・給食及び食に関する年間指導計画作成状況 81.0%		平成16年度と内容変更なし。 なお、当事業は、平成17年度をもって整備を終えた。  平成17年度末現在 ・磁器食器導入等の食事環境改善率 100.0% ・ランチルーム確保及びランチルーム用備品整備率 99.67% (大規模改築予定の1校が未整備) ・給食及び食に関する年間指導計画作成状況 82.7%	
事業内容(量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)		評価(成果)	
	事業なし(平成17年度末で事業終了)  平成18年度末現在 ・磁器食器導入等の食事環境改善率 100.0% ・ランチルーム確保及びランチルーム用備品整備率 99.67% (大規模改築予定の1校が未整備) ・給食及び食に関する年間指導計画作成状況 87.9%		磁器食器の整備では、児童・生徒、教職員の評判も良く、給食の充実に繋がった。 ランチルームの整備では、異学級や異学年との交流給食など豊かな人間形成を育む場としての活用がなされている。 食に関する指導について、学校においても、取組みへの必要性の認識度も高く、更なる食指導の充実も望まれている。	
		課題		
		平成19年度の予算では経常経費の一律カットなどにより、磁器食器等の現状維持費用が十分ではないため、食器や食器籠の破損による更新希望への学校対応が難しくなっており、安全上または衛生的に問題が生じることも予想される。		
19年度以降の方向性・事業の予定				
下記については、継続的に必要となる。 少なくとも食器改善後の現状維持を充たすため、安全上または衛生上必要な破損や更新に対応するための事業費の確保を図る。  ・磁器食器等の破損補充 ・備品の更新 ・食教育の充実				

